

第6回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2019年11～12月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施した。

調査は、アメリカ・イギリス・フランス・中国・韓国・タイの6カ国において、各国約1,000人の回答を得た。アメリカ・フランス・韓国は電話調査、イギリス・中国・タイは面接調査で行った。「対日メディア世論調査」は2015年から年1回この6カ国で行っており、今回調査は6回目となる。主な調査結果は以下の通りである。

主な調査結果

韓国、日本の報道に関心高まる

・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで77.1%、韓国で75.3%となったが、韓国は前回から11.9ポイント増。フランス・中国が60%台、アメリカ50%台。イギリスでは50%を下回った。（資料編1ページ 図表1）

・日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。欧米3カ国では「知らない」人が70%以上、アメリカでは81%。知っているメディアでは、「NHK（ワールドTV、ラジオジャパンなど）」がすべての国で1位。（資料編1ページ 図表2）

メディアに期待する報道内容は「科学技術」

・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は、タイを除く5カ国では「科学技術」、タイでは「観光情報」。2位には、アメリカ・イギリスは「国際協力や平和維持活動」、フランスは「生活様式や食文化」、中国は「観光情報」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。（資料編2ページ 図表3）

・前回調査と比較すると、「観光情報」はアメリカで6→4位に、フランスで6→5位に上昇、「生活様式や食文化」はイギリスで4→3位に、フランスで3→2位に上昇。「政治、経済、外交政策」は中国で7→5位に、タイで6→4位に上昇。（資料編2ページ 図表3）

・日本についての知識や情報の入手先は、中国以外の5カ国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が1位、「インターネット」が2位。中国では「インターネット」が1位、「自国のテレビ、新聞、雑誌」が2位。（資料編2ページ 図表4）

2020年2月7日
公益財団法人 新聞通信調査会

日本のサブカルチャー、中国・タイで高い関心

・日本のアニメや漫画などのサブカルチャーに関心があるか尋ねたところ、「関心がある」（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）と答えた人が中国で 62.9%と最も多く、次いでタイが 46.8%となった。アメリカ・フランス・イギリスは 20%台、韓国は 18.4%であった。（資料編 3 ページ 図表 5）

・日本のサブカルチャーに「関心がある」と答えた人に、どのようなものに関心があるか尋ねたところ、アニメは、中国・タイ・アメリカ・韓国で 1 位、フランス・イギリスで 2 位。（資料編 3 ページ 図表 7）

訪日意向、韓国で激減

・訪日経験があるのは韓国で 60.8%。中国・アメリカは 10%強。タイ・フランス・イギリスは 5~8%。時系列変化を見ると、韓国・タイ・フランス・イギリスは前回より上昇した。韓国は 5.4 ポイントの上昇となった。（資料編 4 ページ 図表 8）

・訪日意向は、韓国が前回より 23.5 ポイント減の 34.2%、一方「行きたくない」が 23.2 ポイント増の 65.0%となった。最近の日韓関係を反映したものと見られる。訪日意向が最も高いのはタイの 83.2%。（資料編 4 ページ 図表 9）

新聞の情報信頼度、タイ・中国で 70 点近く、他は 50 点前後

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼をしていない場合は 0 点、普通の場合は 50 点として点数をつけてもらったところ、タイが 68.5 点で前回より 0.3 点の低下、中国が 66.9 点で変化なし、フランスが 56.0 点で 1.2 点の上昇、アメリカが 55.3 点で 2.8 点の上昇、韓国が 51.5 点で 6.7 点の低下、イギリスが 49.1 点で 2.8 点の低下であった。昨年 8 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は 68.9 点であった。（資料編 5 ページ 図表 10）

ニュース視聴の利用媒体、中国はインターネットが1位、他の5カ国はテレビが1位

・ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ・イギリス・フランス・韓国・タイはテレビが1位、中国はインターネットのニュースサイトが1位。2位にはアメリカ・韓国はインターネットのニュースサイト、イギリス・フランスは新聞、中国はテレビ、タイはSNS。(資料編6ページ図表11)

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、イギリスは「紙のみ」、中国は「電子版のみ」が50%を超えた。前回と比べると、「紙のみ」は中国が9.0ポイント増、フランスが6.5ポイント増となったが、韓国が10.6ポイント減、イギリスが5.1ポイント減となった。(資料編6ページ図表12)

・ネットニュースやSNSを見るのに使用する機器は、前回同様6カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位。(資料編6ページ図表13)

ネットニュースの出所を気にするのは、タイが82.2%で最多、アメリカ・フランス・中国・韓国が70%台、イギリスが60%台

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6カ国すべてで「気にする」(「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計)が60%以上となり、「気にしない」(「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計)を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが82.2%で最も多く、アメリカ・フランス・中国・韓国が70%台、イギリスが60%台であった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが57.5%で最も多く、次いでアメリカ46.1%であった。前回調査と比較すると、「気にする」の割合は韓国のみ増加した。昨年8月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が40.1%、そのうち「いつも気にする」のは11.8%であった。(資料編7ページ 図表14)

「報道の自由は常に保障されるべきだ」に各国80%以上が支持

・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」が6カ国で80%台。(資料編8ページ 図表15(1))

・「国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」がタイで84.0%、イギリスで70.0%、中国で68.4%、アメリカで57.0%。韓国・フランスで50%前後。(資料編8ページ 図表15(2))

・「報道の自由が侵害されていることがあると思うか」については、「そう思う」がイギリス・タイで70%台、アメリカ・中国・韓国で50%以上となった。フランスで50%を下回った。(資料編9ページ 図表15(3))

・「報道によって、プライバシーが侵害されていると思うか」については、「そう思う」がイギリス・フランス・タイで70%を超えた。アメリカは60%台、韓国は50%台。中国は50%を下回った。(資料編9ページ 図表15(4))

アメリカ・中国の好感度は相互に大きく低下 韓国では日本・アメリカへの好感度が低下

・アメリカに対する好感度は、前回より、中国が13.4ポイント、韓国が8.1ポイント低下した。イギリスに対する好感度は、中国で前回より9.0ポイントの低下となった。イギリス・フランスは依然相互に好感度が高い。(資料編10ページ 図表16)

・日本に対する好感度はタイ95.7%、アメリカ82.8%、フランス74.9%、イギリス68.1%。前回と比べると、イギリスは6.1ポイントの上昇となったが、アメリカ・フランス・タイは低下。中国・韓国の好感度は33.5%、22.7%と低く、韓国は前回より9.3ポイント低下。(資料編10ページ 図表16)

・中国に対する好感度は、タイが前回より18.3ポイント上昇、韓国に対する好感度は、中国が前回より8.2ポイント上昇したが、中国・韓国とも欧米3カ国では低下した。特に中国に対する好感度は、アメリカが10.8ポイント、フランスが5.5ポイントの低下となった。(資料編10ページ 図表16)

・アメリカはイギリス・日本・フランス・タイの順に、イギリスはフランス・日本・アメリカ・タイの順に、フランスは日本・イギリス・タイ・アメリカ・韓国の順に50%以上の好感度。中国はフランス・イギリス・タイの順に、韓国はイギリス・フランス・アメリカ・タイの順に、タイは日本・イギリス・アメリカ・フランス・韓国・中国の順に50%以上の好感度。(資料編10ページ 図表16)

日本に対する信頼度は中国・韓国で低下

・日本について「信頼できる」はタイで95.6%、アメリカで79.5%、フランスで76.6%、イギリスで63.0%。昨年度からの変化では、フランスが4.8ポイント低下した。中国は25.7%、韓国は13.0%と低く、時系列変化を見ると、上昇傾向にあった中国で今回は前回から6.7ポイント低下となった。韓国は前回から5.1ポイントの低下。(資料編11ページ 図表17)

・6カ国相互の信頼度では、アメリカはイギリス・フランス・日本・タイの順に、イギリスはフランス・日本の順に、フランスはイギリス・日本・アメリカ・タイの順に50%以上の信頼度。中国はフランス・イギリス・タイの順に、韓国はイギリス・フランスの順に、タイは日本・イギリス・フランス・アメリカ・韓国・中国の順に50%以上の信頼度。(資料編11ページ 図表18)

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」のは、韓国で91.6%と最多、次いで中国80.6%、フランス69.2%、イギリス64.6%

・2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」と答えた人が韓国で91.6%と最も多く、次いで中国で80.6%。以下、フランスで69.2%、イギリスで64.6%、アメリカで55.6%となったが、タイでは41.9%と50%を下回った。初めて質問した前回調査と比べると、韓国が18.9ポイント増、イギリス11.8ポイント増、フランス9.0ポイント増、アメリカ7.1ポイント増となったが、中国は6.7ポイント減、タイは1.0ポイント減となった。(資料編12ページ 図表19)

・東京オリンピック・パラリンピックの報道を自国のマスメディアで見聞きしたことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人が韓国で77.1%と最も多く、次いで中国が66.4%となった。フランス・イギリス・タイ・アメリカは30~40%台であった。前回と比べると、韓国が21.0ポイント増、イギリス13.7ポイント増、フランス12.7ポイント増、アメリカ6.1ポイント増となったが、中国は6.4ポイント減、タイは11.2ポイント減となった。(資料編12ページ 図表19)

調査の概要

●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
アメリカ	11月25日～12月1日	電話調査	SSRS	全国
イギリス	12月4日～8日	面接調査	TNS	全国
フランス	11月25日～11月30日	電話調査	CSA	全国
中国	12月1日～5日	面接調査	CRCリサーチセンター	北京、上海、広州、瀋陽、西安、成都、武漢、合肥、南京、青島
韓国	11月25日～12月3日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	11月15日～12月15日	面接調査	IPSOS Thailand	バンコク、チェンマイ、ウドーンターニー、ソンクラーク

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

●回収サンプルの構成

アメリカ	男性	493	50.9%	中国	男性	506	50.6%
	女性	476	49.1%		女性	494	49.4%
	10代(18-19歳)	24	2.5%		10代(18-19歳)	24	2.4%
	20歳代	106	10.9%		20歳代	275	27.5%
	30歳代	122	12.6%		30歳代	345	34.5%
	40歳代	164	16.9%		40歳代	217	21.7%
	50歳代	187	19.3%		50歳代	95	9.5%
	60歳代	178	18.4%		60歳代	43	4.3%
	70歳以上(70-95歳)	188	19.4%		70歳以上(71歳)	1	0.1%
合計	969	100.0%	合計	1,000	100.0%		
イギリス	男性	476	49.4%	韓国	男性	504	50.4%
	女性	487	50.6%		女性	496	49.6%
	10代(16-19歳)	36	3.7%		10代(19歳)	8	0.8%
	20歳代	154	16.0%		20歳代	138	13.8%
	30歳代	143	14.8%		30歳代	156	15.6%
	40歳代	119	12.4%		40歳代	216	21.6%
	50歳代	112	11.6%		50歳代	228	22.8%
	60歳代	145	15.1%		60歳代	166	16.6%
	70歳以上(70-98歳)	254	26.4%		70歳以上(70-80歳)	88	8.8%
合計	963	100.0%	合計	1,000	100.0%		
フランス	男性	508	50.7%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	494	49.3%		女性	500	50.0%
	10代(18-19歳)	26	2.6%		10代(18-19歳)	35	3.5%
	20歳代	124	12.4%		20歳代	245	24.5%
	30歳代	137	13.7%		30歳代	230	23.0%
	40歳代	172	17.2%		40歳代	260	26.0%
	50歳代	201	20.1%		50歳代	194	19.4%
	60歳代	163	16.3%		60歳代	31	3.1%
	70歳以上(70-97歳)	179	17.9%		70歳以上(70-80歳)	5	0.5%
合計	1,002	100.0%	合計	1,000	100.0%		

●質問一覧

質問	選択肢
<p>問 1. あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1)アメリカ (2)イギリス (3)フランス (4)日本 (5)中国 (6)韓国 (7)タイ</p>	<p>1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない</p>
<p>問 2. では、次の国々を信頼できると思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1)アメリカ (2)イギリス (3)フランス (4)日本 (5)中国 (6)韓国 (7)タイ</p>	<p>1 とても信頼できる 2 やや信頼できる 3 あまり信頼できない 4 全く信頼できない</p>
<p>問 3. 日本についての知識や情報はどこから得ていますか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 自国のテレビ、新聞、雑誌 2 自分の家族や親戚、知人 3 インターネット 4 日本人の友人、知人 5 訪日経験 6 学校教育 7 得ていない</p>
<p>問 4. あなたは日本に行ったことがありますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 行ったことがある 2 行ったことはない</p>
<p>問 5. あなたは日本に行きたいと思いますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 行きたい 2 行きたくない</p>
<p>問 6. あなたは、日本のメディアをご存知ですか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 NHK (ワールドTV、ラジオジャパンなど) 2 共同通信社 3 時事通信社 4 日本の新聞 (朝日、毎日、読売、日経、産経など) 5 知っているものはない</p>
<p>問 7. あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない</p>
<p>問 8. あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報 (8) 日本の皇族</p>	<p>1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい</p>
<p>問 9. あなたは日本のアニメ、漫画、ゲーム、コスプレ、フィギュア (人形)、アイドルなどの文化に関心がありますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない</p>
<p>【問 9 で「1. とても関心がある」「2. やや関心がある」と答えた人に】</p> <p>問 10. では、関心があるものをこの中からいくつでもお答えください。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 アニメ 2 漫画 3 ゲーム 4 コスプレ 5 フィギュア (人形) 6 アイドル 7 その他</p>
<p>問 11. あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 新聞 (紙面) 2 新聞 (電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (facebook、twitter など) 7 雑誌</p>

質問	選択肢
問 12. あなたは、インターネットのニュースや SNS (facebook、twitter など) を見る時に、何を使いますか。(回答はいくつでも)	1 パソコン 2 スマートフォン・携帯電話 3 タブレット (例: iPad) 4 その他
問 13. あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所 (報道機関名などの配信元) を気にしますか。(回答は1つ)	1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない
問 14. 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼していない場合は 0 点とし、普通の場合を 50 点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。	
問 15. あなたは、報道の自由についてどう思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 報道の自由は常に保障されるべきだ (2) 国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思う (3) 報道の自由が侵害されていることがあると思う (4) 報道によって、プライバシーが侵害されていると思う	1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかと言えばそうは思わない 4 そうは思わない
問 16. あなたは、来年の 2020 年に日本の東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることを知っていますか。(回答は1つ)	1 知っている 2 知らない
問 17. 日本の東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに関する報道を、自国のテレビ・新聞などのマスメディアで見聞きしたことはありますか。(回答は1つ)	1 ある 2 ない

第 6 回 諸外国における対日メディア世論調査

2020 年 2 月 7 日発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町 2-2-1

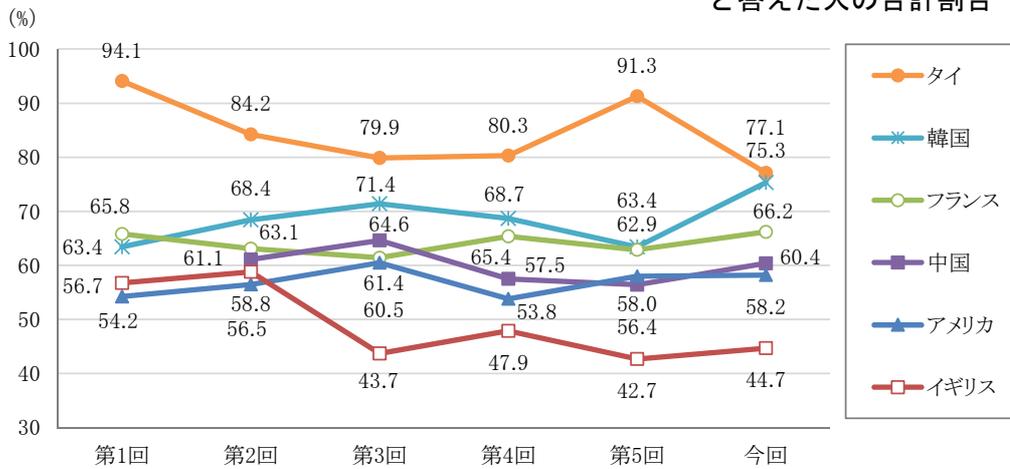
日本プレスセンタービル 1 階

電話 03-3593-1081

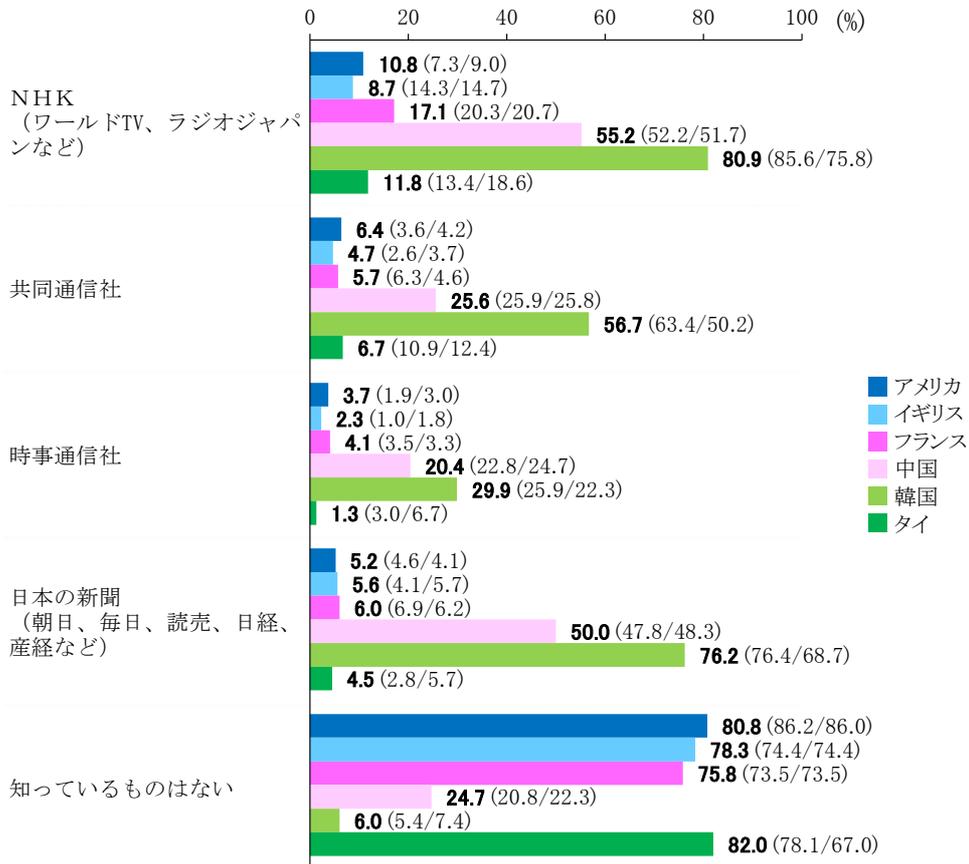
韓国、日本の報道に関心高まる

- ・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで77.1%、韓国で75.3%となったが、韓国は前回から11.9ポイント増。フランス・中国が60%台、アメリカ50%台。イギリスでは50%を下回った。
- ・日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。欧米3カ国では「知らない」人が70%以上、アメリカでは81%。知っているメディアでは、「NHK(ワールドTV、ラジオジャパンなど)」がすべての国で1位(複数回答)。

図表1 日本のことが報道されると関心を持つか(問7) — 「とても関心がある」「やや関心がある」と答えた人の合計割合



図表2 日本のメディアの認知度(複数回答)(問6)



※ () 内は左から第5回、第4回調査結果

メディアに期待する報道内容は「科学技術」

- 日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は、タイを除く5カ国では「科学技術」、タイでは「観光情報」。2位には、アメリカ・イギリスは「国際協力や平和維持活動」、フランスは「生活様式や食文化」、中国は「観光情報」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。
- 前回調査と比較すると、「観光情報」はアメリカで6→4位に、フランスで6→5位に上昇、「生活様式や食文化」はイギリスで4→3位に、フランスで3→2位に上昇。「政治、経済、外交政策」は中国で7→5位に、タイで6→4位に上昇。
- 日本についての知識や情報の入手先は、中国以外の5カ国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が1位、「インターネット」が2位（複数回答）。中国では「インターネット」が1位、「自国のテレビ、新聞、雑誌」が2位。

図表3 メディアに期待する報道内容（問8）

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
アメリカ	科学技術 84.3 (80.1/78.9) 1←1	国際協力や平和維持活動 74.5 (72.5/72.8) 2←2	政治、経済、外交政策 70.1 (70.2/69.9) 3←3	観光情報 64.7 (64.1/59.2) 4←6	歴史と文化 64.3 (65.8/64.4) 5←5	生活様式や食文化 63.5 (66.5/62.2) 6←4	ファッション、アニメ、音楽 48.9 (47.7/46.2) 7←7	日本の皇族 41.0 (45.0/*) 8←8
イギリス	科学技術 59.2 (55.9/58.3) 1←1	国際協力や平和維持活動 51.7 (51.3/54.5) 2←2	生活様式や食文化 47.7 (46.9/45.1) 3←4	歴史と文化 47.4 (48.9/47.3) 4←3	観光情報 46.9 (45.1/43.1) 5←5	政治、経済、外交政策 41.1 (40.2/45.9) 6←6	ファッション、アニメ、音楽 29.4 (30.5/32.1) 7←7	日本の皇族 25.9 (26.0/*) 8←8
フランス	科学技術 45.0 (53.2/54.0) 1←1	生活様式や食文化 37.2 (47.1/47.1) 2←3	歴史と文化 36.0 (48.6/44.9) 3←2	国際協力や平和維持活動 35.5 (42.7/45.2) 4←4	観光情報 31.9 (37.5/36.9) 5←6	政治、経済、外交政策 31.3 (39.4/43.1) 6←5	ファッション、アニメ、音楽 16.1 (24.2/26.1) 7←7	日本の皇族 8.9 (12.2/*) 8←8
中国	科学技術 72.7 (71.7/69.8) 1←1	観光情報 72.5 (69.4/65.7) 2←2	ファッション、アニメ、音楽 64.0 (66.9/64.1) 3←3	生活様式や食文化 63.2 (58.2/59.6) 4←4	政治、経済、外交政策 54.8 (49.7/42.6) 5←7	歴史と文化 54.0 (52.0/46.3) 6←6	日本の皇族 41.9 (54.5/*) 7←5	国際協力や平和維持活動 37.4 (34.5/25.2) 8←8
韓国	科学技術 81.1 (83.8/85.6) 1←1	政治、経済、外交政策 74.2 (76.7/81.4) 2←2	国際協力や平和維持活動 70.1 (72.5/78.8) 3←3	歴史と文化 55.4 (61.8/67.2) 4←4	生活様式や食文化 47.4 (58.0/61.7) 5←5	観光情報 39.2 (55.8/60.7) 6←6	ファッション、アニメ、音楽 30.8 (37.2/42.1) 7←7	日本の皇族 27.9 (27.2/*) 8←8
タイ	観光情報 92.5 (94.3/90.7) 1←1	科学技術 83.3 (87.7/86.4) 2←2	生活様式や食文化 82.4 (86.8/83.9) 3←3	政治、経済、外交政策 82.0 (75.3/79.1) 4←6	国際協力や平和維持活動 80.1 (79.1/80.8) 5←5	歴史と文化 75.3 (83.6/80.1) 6←4	日本の皇族 73.4 (73.4/*) 7←7	ファッション、アニメ、音楽 66.0 (65.9/61.8) 8←8

※()内は、左から第5回調査、第4回調査の結果

※各国の最下段は順位の変動を示す。左側の数字は今回順位、右側の数字は前回順位。

青字は順位が前回から上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が前回から低下。

図表4 日本に関する情報の入手先（複数回答）（問3）

(%)

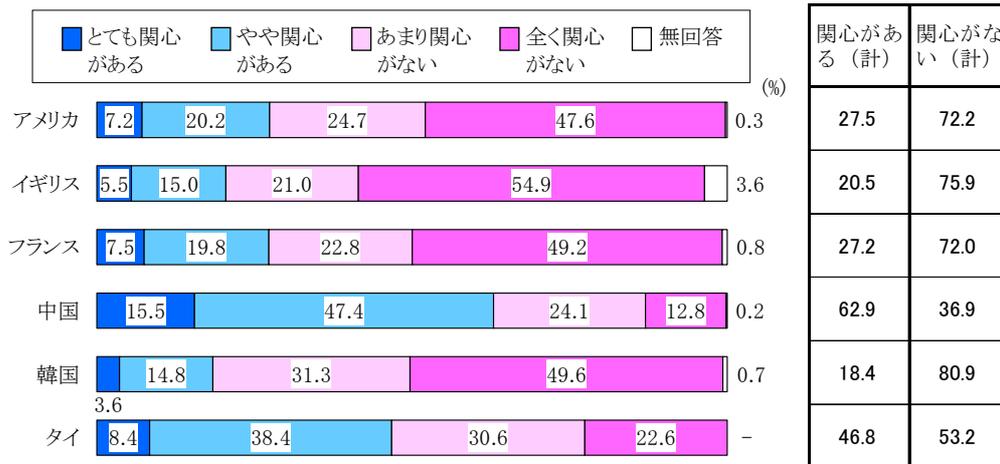
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	自国のテレビ、新聞、雑誌 53.4 (40.9/52.9)	インターネット 45.1 (30.7/35.2)	自分の家族や親戚、知人 25.1 (23.6/27.1)	学校教育 23.7 (18.5/23.8)	日本人の友人、知人 20.4 (16.4/21.2)	訪日経験 8.9 (7.5/9.7)
イギリス	自国のテレビ、新聞、雑誌 56.4 (53.0/59.7)	インターネット 33.3 (26.7/28.3)	自分の家族や親戚、知人 10.1 (9.0/10.9)	学校教育 7.8 (6.8/8.0)	日本人の友人、知人 3.8 (4.5/4.9)	訪日経験 3.0 (2.9/2.1)
フランス	自国のテレビ、新聞、雑誌 81.4 (84.2/78.8)	インターネット 45.3 (51.8/47.1)	自分の家族や親戚、知人 36.6 (42.2/36.2)	学校教育 30.0 (39.8/37.6)	日本人の友人、知人 18.2 (17.2/17.3)	訪日経験 6.6 (5.2/5.1)
中国	インターネット 84.5 (83.4/83.6)	自国のテレビ、新聞、雑誌 63.8 (65.1/74.3)	自分の家族や親戚、知人 34.8 (34.0/27.4)	学校教育 27.6 (26.9/18.9)	訪日経験 11.2 (12.6/9.1)	日本人の友人、知人 5.6 (14.7/10.7)
韓国	自国のテレビ、新聞、雑誌 69.8 (72.1/72.5)	インターネット 56.2 (48.4/49.0)	自分の家族や親戚、知人 19.1 (15.8/16.7)	訪日経験 12.7 (13.9/12.3)	学校教育 11.5 (18.0/14.8)	日本人の友人、知人 10.3 (8.0/7.3)
タイ	自国のテレビ、新聞、雑誌 80.6 (84.3/89.5)	インターネット 62.9 (62.6/58.1)	自分の家族や親戚、知人 40.8 (23.3/30.7)	日本人の友人、知人 7.4 (4.2/3.4)	学校教育 7.1 (8.2/5.9)	訪日経験 4.6 (4.7/2.2)

※()内は、左から第5回調査、第4回調査の結果

日本のサブカルチャー、中国・タイで高い関心

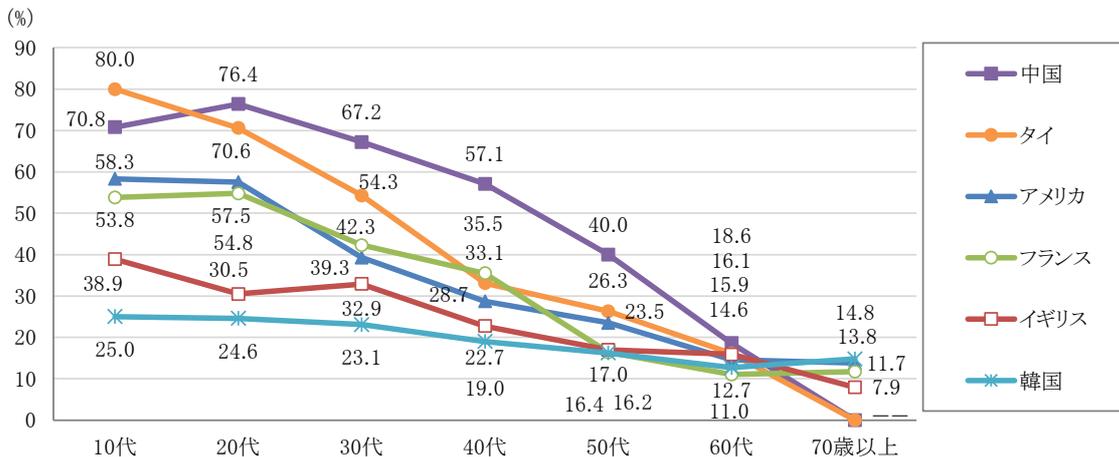
- ・日本のアニメや漫画などのサブカルチャーに関心があるか尋ねた^(注)ところ、「関心がある」（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）と答えた人が中国で 62.9%と最も多く、次いでタイが 46.8%となった。アメリカ・フランス・イギリスは20%台、韓国は18.4%であった。
- ・日本のサブカルチャーに「関心がある」と答えた人に、どのようなものに関心があるか尋ねたところ、アニメは、中国・タイ・アメリカ・韓国で1位、フランス・イギリスで2位（複数回答）。

図表5 日本のサブカルチャーへの関心（問9）



注：「あなたは日本のアニメ、漫画、ゲーム、コスプレ、フィギュア（人形）、アイドルなどの文化に関心がありますか。」と質問した。

図表6 日本のサブカルチャーへの関心（問9）一年齢別



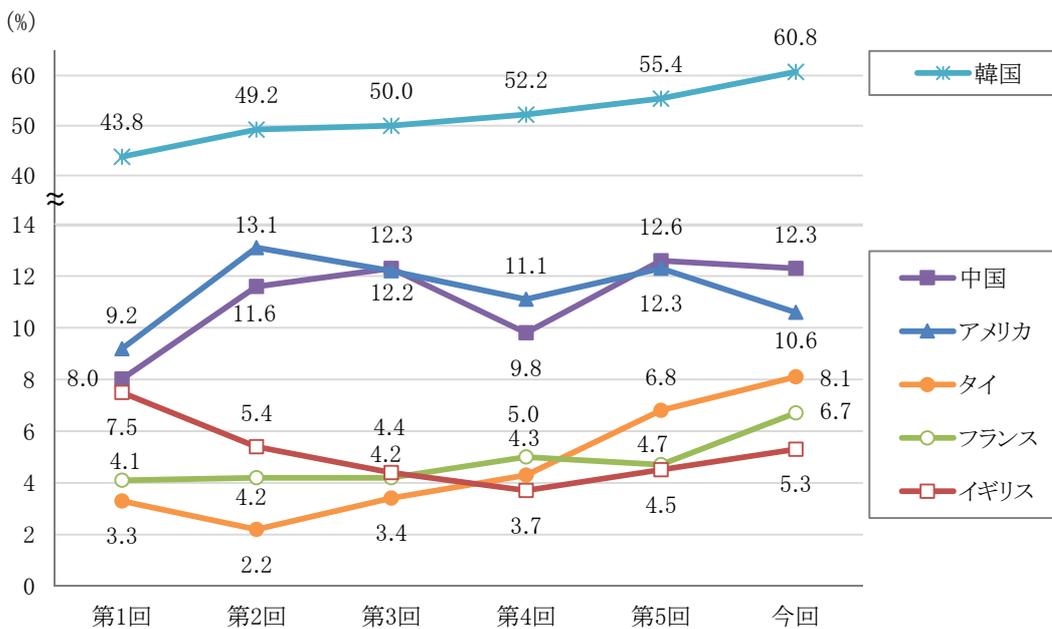
図表7 関心がある日本のサブカルチャー（複数回答）（問10）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	アニメ 65.4	ゲーム 55.3	漫画 42.9	フィギュア 37.2	コスプレ 32.0	アイドル 18.8
イギリス	ゲーム 47.7	アニメ 43.7	漫画 31.0	コスプレ 14.2	フィギュア 7.6	アイドル 7.6
フランス	漫画 60.1	アニメ 35.9	ゲーム 34.4	コスプレ 9.5	フィギュア 8.8	アイドル 7.3
中国	アニメ 64.2	漫画 59.8	ゲーム 38.2	コスプレ 32.6	アイドル 23.7	フィギュア 21.0
韓国	アニメ 71.2	漫画 41.8	フィギュア 25.0	ゲーム 22.8	コスプレ 12.5	アイドル 6.5
タイ	アニメ 58.1	フィギュア 32.7	ゲーム 31.2	漫画 29.3	アイドル 24.6	コスプレ 21.8

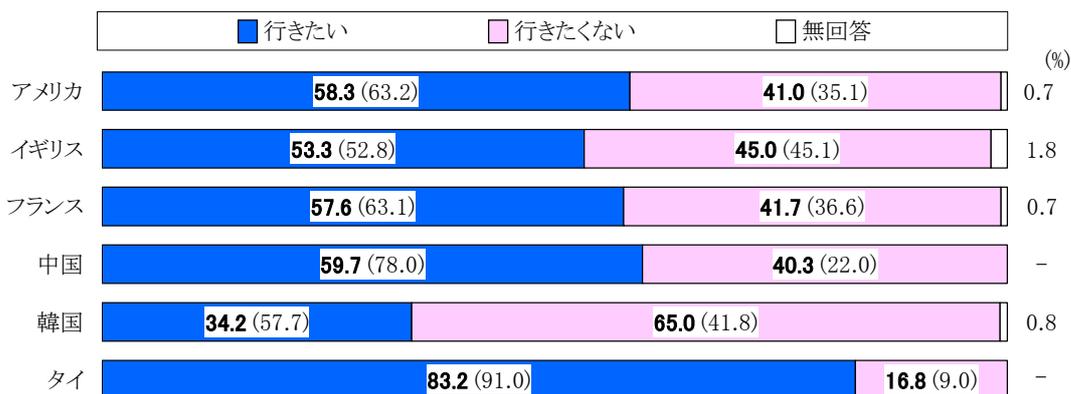
訪日意向、韓国で激減

- ・ 訪日経験があるのは韓国で 60.8%。中国・アメリカは 10%強。タイ・フランス・イギリスは 5~8%。
- ・ 時系列変化を見ると、韓国・タイ・フランス・イギリスは前回より上昇した。韓国は 5.4 ポイントの上昇となった。
- ・ 訪日意向は、韓国が前回より 23.5 ポイント減の 34.2%、一方「行きたくない」が 23.2 ポイント増の 65.0%となった。最近の日韓関係を反映したものと思われる。訪日意向が最も高いのはタイの 83.2%。

図表 8 訪日経験（問 4）—「行ったことがある」と答えた人の割合



図表 9 訪日意向（問 5）

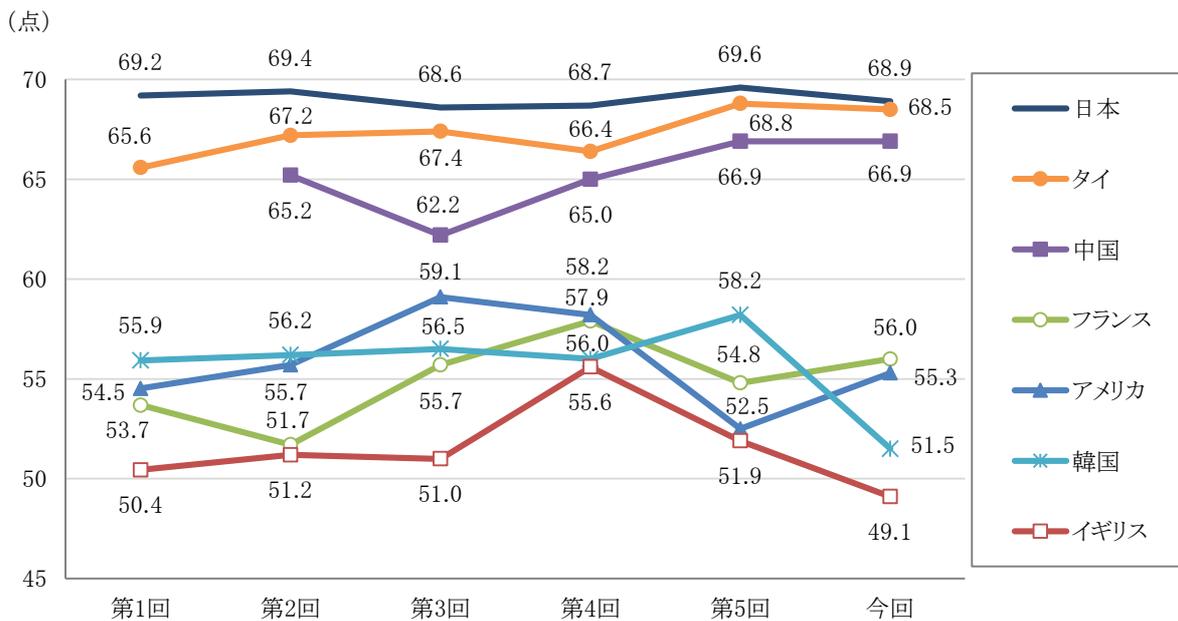


※()内は、前回調査の結果

新聞の情報信頼度、タイ・中国で 70 点近く、他は 50 点前後

- 新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼をしていない場合は 0 点、普通の場合は 50 点として点数をつけてもらったところ、タイが 68.5 点で前回より 0.3 点の低下、中国が 66.9 点で変化なし、フランスが 56.0 点で 1.2 点の上昇、アメリカが 55.3 点で 2.8 点の上昇、韓国が 51.5 点で 6.7 点の低下、イギリスが 49.1 点で 2.8 点の低下であった。昨年 8 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は 68.9 点であった。

図表 10 新聞の情報信頼度（問 14）



注 1：アメリカは 0 点～10 点で質問したので、回答の数値を 10 倍した。

注 2：図表中の日本については第 12 回メディアに関する全国世論調査（2019 年）より参考として表記。
 「第 12 回メディアに関する全国世論調査（2019 年）」は 2019 年 8 月に全国 18 歳以上の 5,000 人を対象に訪問留置法で行い 3,051 人（有効回収率 61.0%）から回答を得た。
 以下、同じ。

ニュース視聴の利用媒体、中国はインターネットが1位、他の5カ国はテレビが1位

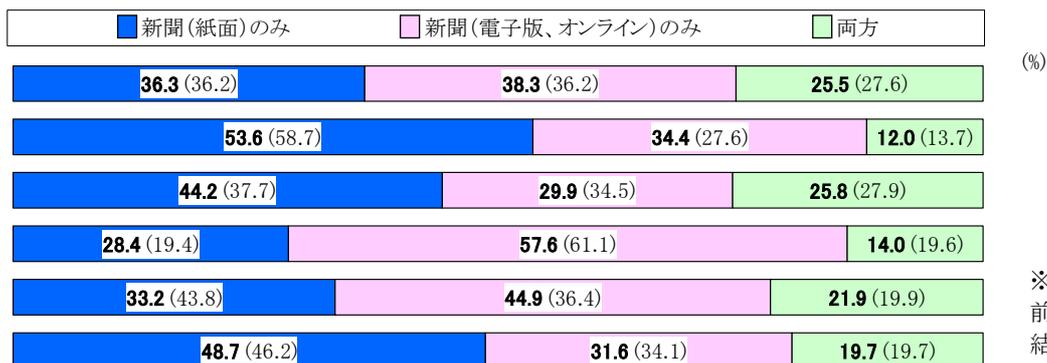
- ・ ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ・イギリス・フランス・韓国・タイはテレビが1位、中国はインターネットのニュースサイトが1位（複数回答）。
- ・ 2位にはアメリカ・韓国はインターネットのニュースサイト、イギリス・フランスは新聞、中国はテレビ、タイはSNS (facebook、twitter など)。
- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、イギリスは「紙のみ」、中国は「電子版のみ」が50%を超えた。前回と比べると、「紙のみ」は中国が9.0ポイント増、フランスが6.5ポイント増となったが、韓国が10.6ポイント減、イギリスが5.1ポイント減となった。
- ・ ネットニュースやSNSを見るのに使用する機器は、前回同様6カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位（複数回答）。

図表 11 ニュース視聴の利用媒体(複数回答) (問 11) (%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	テレビ 70.8(64.2/72.9)	インターネットのニュースサイト 51.9(43.3/50.0)	新聞 51.5(41.8/31.8)	SNS (facebook、twitterなど) 43.1(30.2/30.8)	ラジオ 34.2(26.9/35.5)	雑誌 18.3(14.5/18.9)
イギリス	テレビ 71.3(69.5/70.3)	新聞 38.0(37.3/33.7)	インターネットのニュースサイト 34.3(32.0/37.3)	ラジオ 27.5(23.8/25.1)	SNS (facebook、twitterなど) 19.8(20.8/18.2)	雑誌 3.5(2.4/3.4)
フランス	テレビ 78.9(84.4/83.3)	新聞 68.4(72.2/51.2)	ラジオ 63.8(70.3/64.3)	インターネットのニュースサイト 48.8(49.4/65.4)	雑誌 35.8(47.6/41.9)	SNS (facebook、twitterなど) 34.9(47.4/42.0)
中国	インターネットのニュースサイト 82.1(82.3/80.5)	テレビ 73.7(71.3/71.9)	SNS (facebook、twitterなど) 72.6(67.5/66.2)	新聞 51.4(47.0/30.0)	雑誌 17.3(11.2/13.4)	ラジオ 17.0(12.4/17.9)
韓国	テレビ 65.0(72.8/77.5)	インターネットのニュースサイト 61.8(59.8/63.3)	新聞 30.1(29.7/27.3)	SNS (facebook、twitterなど) 20.7(16.8/20.0)	ラジオ 16.2(12.9/10.4)	雑誌 4.3(6.0/6.2)
タイ	テレビ 89.3(91.0/90.8)	SNS (facebook、twitterなど) 75.2(67.4/63.1)	インターネットのニュースサイト 21.7(22.0/33.1)	新聞 19.3(13.2/26.6)	ラジオ 4.9(3.6/5.1)	雑誌 3.2(5.2/2.1)

※()内は、左から第5回調査、第4回調査の結果

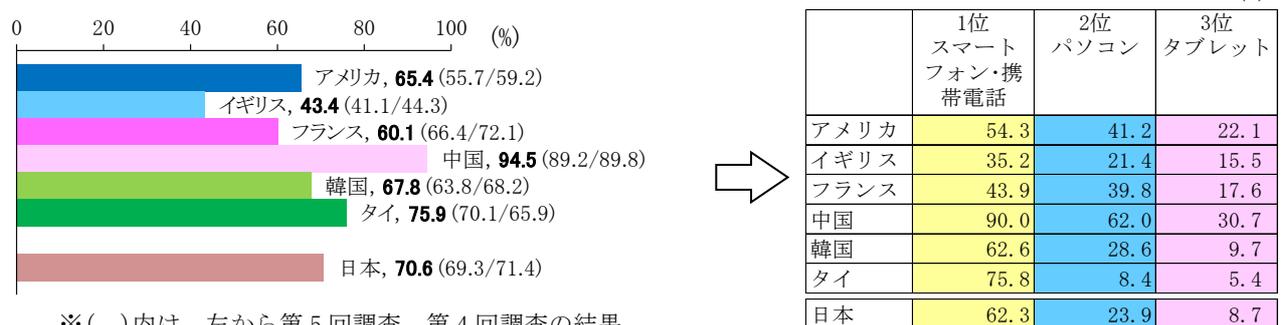
図表 12 新聞を紙、電子版のどちらで読むか (問 11)



(%)

※()内は、前回調査の結果

図表 13 ネットニュースやSNSを見る割合と使用機器(複数回答) (問 11、問 12) (%)

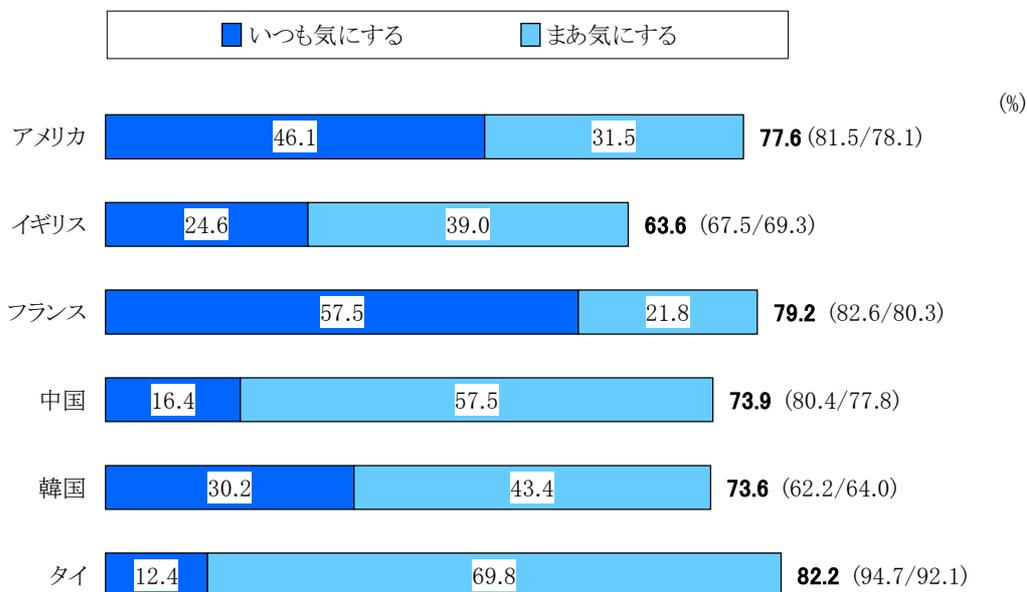


※()内は、左から第5回調査、第4回調査の結果

ネットニュースの出所を気にするのは、タイが82.2%で最多、アメリカ・フランス・中国・韓国が70%台、イギリスが60%台

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6カ国すべてで「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）が60%以上となり、「気にしない」（「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計）を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが82.2%で最も多く、アメリカ・フランス・中国・韓国が70%台、イギリスが60%台であった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが57.5%で最も多く、次いでアメリカ46.1%であった。前回調査と比較すると、「気にする」の割合は韓国のみ増加した。昨年8月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が40.1%、そのうち「いつも気にする」のは11.8%であった。

図表 14 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問 13）



【参考：第12回メディアに関する全国世論調査(2019年)より】

日本 11.8 28.3 40.1 (39.9/42.5)

注1：棒グラフ右外側の数字は「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計。

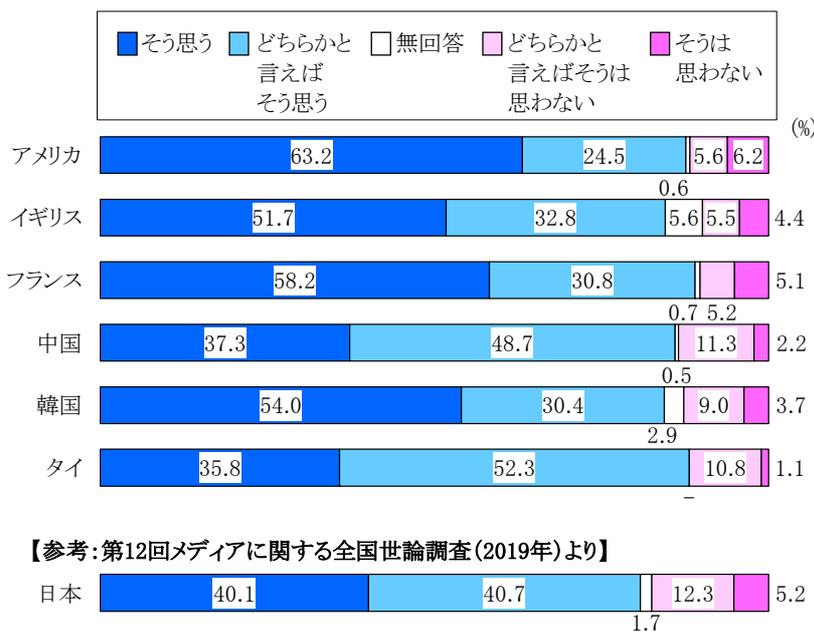
注2：（ ）内は、左から第5回調査、第4回調査の結果。

「報道の自由は常に保障されるべきだ」に各国 80%以上が支持

- ・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」が6カ国で80%台。
- ・「国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」がタイで84.0%、イギリスで70.0%、中国で68.4%、アメリカで57.0%。韓国・フランスで50%前後。

図表 15 報道の自由について（問 15）

（1）報道の自由は常に保障されるべきだ

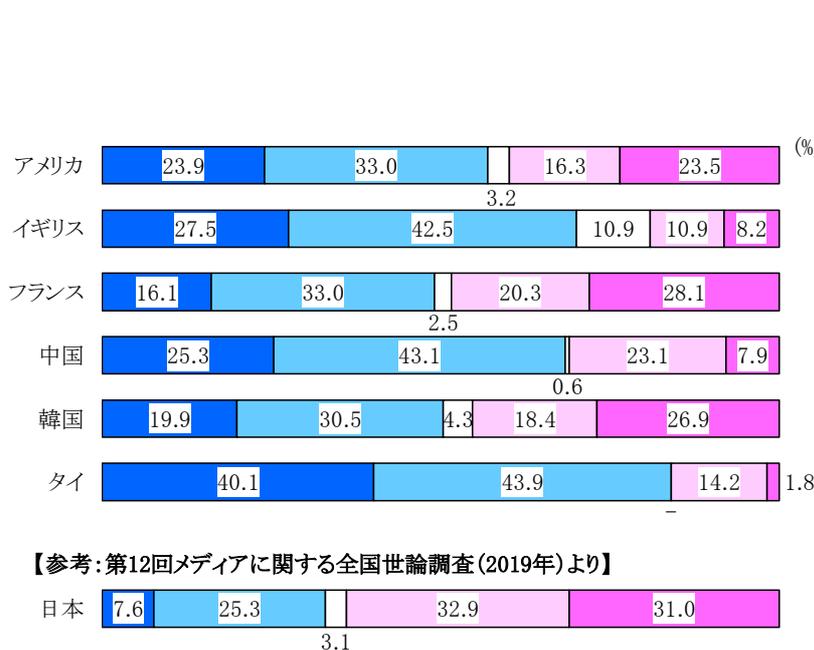


【参考：第12回メディアに関する全国世論調査(2019年)より】

そう思う (計)			そうは思わない (計)		
今回	第5回	第4回	今回	第5回	第4回
87.6	84.4	89.1	11.8	14.2	10.2
84.5	83.9	84.3	9.9	10.5	11.3
89.0	92.2	93.4	10.3	7.1	6.2
86.0	88.6	81.1	13.5	10.4	18.0
84.4	87.4	91.7	12.7	9.4	6.6
88.1	85.1	90.2	11.9	14.9	9.8

80.8	82.3	83.2	17.5	16.2	15.2
------	------	------	------	------	------

（2）国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思う



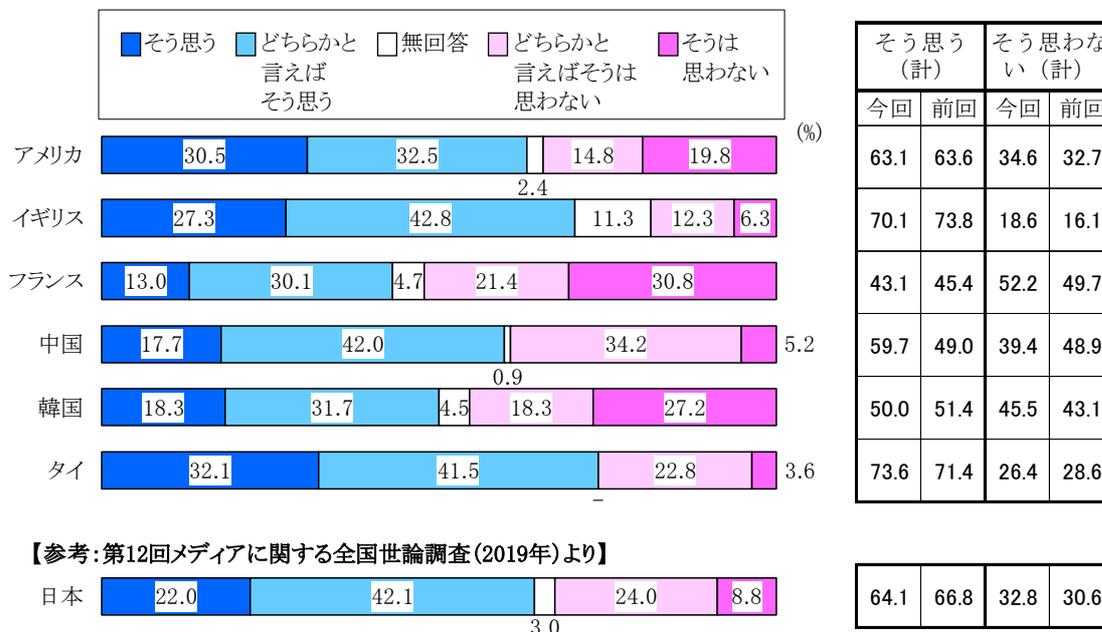
【参考：第12回メディアに関する全国世論調査(2019年)より】

そう思う (計)			そうは思わない (計)		
今回	第5回	第4回	今回	第5回	第4回
57.0	58.9	60.1	39.8	37.7	36.2
70.0	71.8	75.5	19.1	19.9	15.9
49.1	48.4	48.4	48.4	49.4	49.5
68.4	65.0	73.7	31.0	33.2	24.4
50.4	59.9	53.5	45.3	34.6	41.5
84.0	82.2	82.6	16.0	17.8	17.4

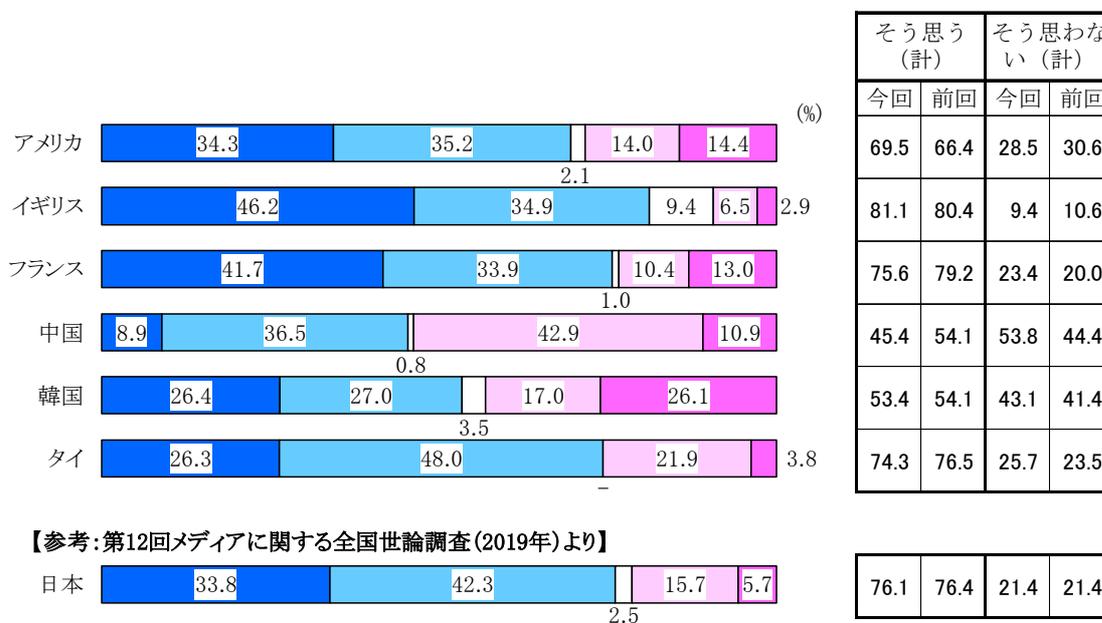
33.0	33.6	30.5	63.9	64.1	66.8
------	------	------	------	------	------

- ・「報道の自由が侵害されていることがあると思うか」については、「そう思う」がイギリス・タイで70%台、アメリカ・中国・韓国で50%以上となった。フランスで50%を下回った。
- ・「報道によって、プライバシーが侵害されていると思うか」については、「そう思う」がイギリス・フランス・タイで70%を超えた。アメリカは60%台、韓国は50%台。中国は50%を下回った。

(3) 報道の自由が侵害されていることがあると思う



(4) 報道によって、プライバシーが侵害されていると思う



アメリカ・中国の好感度は相互に大きく低下 韓国では日本・アメリカへの好感度が低下

- ・ アメリカに対する好感度は、前回より、中国が 13.4 ポイント、韓国が 8.1 ポイント低下した。
- ・ イギリスに対する好感度は、中国で前回より 9.0 ポイントの低下となった。イギリス・フランスは依然相互に好感度が高い。
- ・ 日本に対する好感度はタイ 95.7%、アメリカ 82.8%、フランス 74.9%、イギリス 68.1%。前回と比べると、イギリスは 6.1 ポイントの上昇となったが、アメリカ・フランス・タイは低下。中国・韓国の好感度は 33.5%、22.7%と低く、韓国は前回より 9.3 ポイント低下。
- ・ 中国に対する好感度は、タイが前回より 18.3 ポイント上昇、韓国に対する好感度は、中国が前回より 8.2 ポイント上昇したが、中国・韓国とも欧米 3 カ国では低下した。特に中国に対する好感度は、アメリカが 10.8 ポイント、フランスが 5.5 ポイントの低下となった。
- ・ アメリカはイギリス・日本・フランス・タイの順に、イギリスはフランス・日本・アメリカ・タイの順に、フランスは日本・イギリス・タイ・アメリカ・韓国の順に 50%以上の好感度。
- ・ 中国はフランス・イギリス・タイの順に、韓国はイギリス・フランス・アメリカ・タイの順に、タイは日本・イギリス・アメリカ・フランス・韓国・中国の順に 50%以上の好感度。

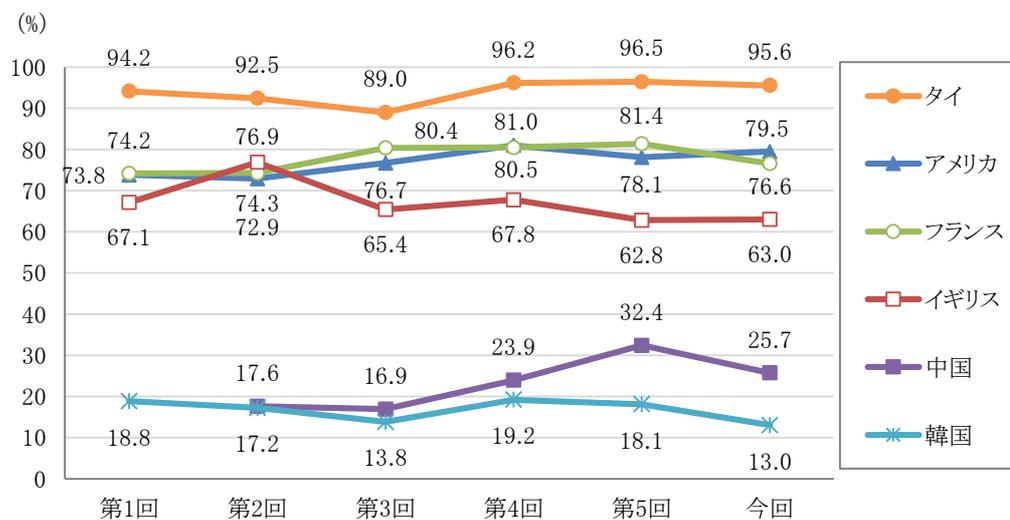
図表 16 各国間の好感度（問 1）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【今回】	実	82.8	*	85.1	79.1	43.6	46.7	65.1	
	施	68.1	63.1	*	69.6	43.0	33.9	56.5	
	国	74.9	58.0	72.0	*	38.3	52.5	58.1	
		中国	33.5	46.1	73.3	87.1	*	45.0	71.3
		韓国	22.7	64.2	68.8	68.4	31.9	*	59.0
		タイ	95.7	86.8	89.2	83.8	69.9	73.5	*
【第5回】	実	85.7	*	84.1	77.4	54.4	51.5	68.9	
	施	62.0	61.7	*	68.1	45.5	34.4	55.3	
	国	79.1	56.1	74.7	*	43.8	56.4	65.3	
		中国	33.9	59.5	82.3	86.7	*	36.8	67.2
		韓国	32.0	72.3	72.6	72.1	28.6	*	56.2
		タイ	96.5	84.8	89.5	84.5	51.6	69.7	*
【第4回】	実	83.6	*	84.9	76.0	55.6	44.9	64.7	
	施	66.6	62.9	*	70.1	55.7	33.6	55.6	
	国	81.1	58.8	78.0	*	53.6	59.2	70.3	
		中国	27.9	55.9	76.8	84.7	*	35.7	62.3
		韓国	38.3	73.3	73.0	72.9	36.5	*	56.5
		タイ	98.3	75.7	88.6	83.7	52.7	75.5	*
【今回-第5回】	実	-2.9	*	1.0	1.7	-10.8	-4.8	-3.8	
	施	6.1	1.4	*	1.5	-2.5	-0.5	1.2	
	国	-4.2	1.9	-2.7	*	-5.5	-3.9	-7.2	
		中国	-0.4	-13.4	-9.0	0.4	*	8.2	4.1
		韓国	-9.3	-8.1	-3.8	-3.7	3.3	*	2.8
		タイ	-0.8	2.0	-0.3	-0.7	18.3	3.8	*
【第5回-第4回】	実	2.1	*	-0.8	1.4	-1.2	6.6	4.2	
	施	-4.6	-1.2	*	-2.0	-10.2	0.8	-0.3	
	国	-2.0	-2.7	-3.3	*	-9.8	-2.8	-5.0	
		中国	6.0	3.6	5.5	2.0	*	1.1	4.9
		韓国	-6.3	-1.0	-0.4	-0.8	-7.9	*	-0.3
		タイ	-1.8	9.1	0.9	0.8	-1.1	-5.8	*
【第4回-第3回】	実	-0.9	*	-2.3	1.2	5.6	2.7	1.2	
	施	-2.1	3.0	*	-1.0	3.7	5.4	0.7	
	国	-0.1	5.3	6.8	*	8.3	4.5	6.3	
		中国	4.5	-2.7	0.3	2.3	*	-3.3	5.4
		韓国	8.3	-0.9	0.8	3.0	-8.5	*	9.6
		タイ	6.7	-6.5	3.4	3.5	-2.2	8.6	*

日本に対する信頼度は中国・韓国で低下

- 日本について「信頼できる」はタイで95.6%、アメリカで79.5%、フランスで76.6%、イギリスで63.0%。昨年度からの変化では、フランスが4.8ポイント低下した。中国は25.7%、韓国は13.0%と低く、時系列変化を見ると、上昇傾向にあった中国で今回は前回から6.7ポイント低下となった。韓国は前回から5.1ポイントの低下。
- 6カ国相互の信頼度では、アメリカはイギリス・フランス・日本・タイの順に、イギリスはフランス・日本の順に、フランスはイギリス・日本・アメリカ・タイの順に50%以上の信頼度。中国はフランス・イギリス・タイの順に、韓国はイギリス・フランスの順に、タイは日本・イギリス・フランス・アメリカ・韓国・中国の順に50%以上の信頼度。

図表 17 日本の信頼度（問2） — 「とても信頼できる」「やや信頼できる」と答えた人の合計割合



図表 18 各国間の信頼度（問2） — 「信頼できる」と答えた人の割合

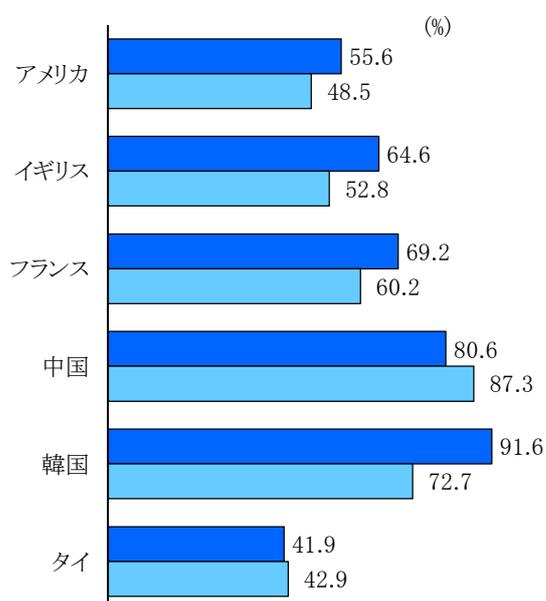
		対 象 国						
		日本	アメリカ	イギリス	フランス	中国	韓国	タイ
実 施 国	アメリカ	79.5	*	87.0	80.9	34.4	44.2	61.8
	イギリス	63.0	49.7	*	65.4	31.0	30.9	46.7
	フランス	76.6	58.4	78.5	*	37.1	49.8	54.5
	中国	25.7	39.1	68.7	83.7	*	48.3	67.0
	韓国	13.0	48.8	63.0	62.7	13.8	*	45.9
	タイ	95.6	83.6	88.1	85.4	65.9	69.2	*

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」のは、韓国で91.6%と最多、次いで中国80.6%、フランス69.2%、イギリス64.6%

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」と答えた人が韓国で91.6%と最も多く、次いで中国で80.6%。以下、フランスで69.2%、イギリスで64.6%、アメリカで55.6%となったが、タイでは41.9%と50%を下回った。初めて質問した前回調査と比べると、韓国が18.9ポイント増、イギリス11.8ポイント増、フランス9.0ポイント増、アメリカ7.1ポイント増となったが、中国は6.7ポイント減、タイは1.0ポイント減となった。
- 東京オリンピック・パラリンピックの報道を自国のマスメディアで見聞きしたことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人が韓国で77.1%と最も多く、次いで中国が66.4%となった。フランス・イギリス・タイ・アメリカは30~40%台であった。前回と比べると、韓国が21.0ポイント増、イギリス13.7ポイント増、フランス12.7ポイント増、アメリカ6.1ポイント増となったが、中国は6.4ポイント減、タイは11.2ポイント減となった。

図表 19 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて

開催を知っているか（問16）
—「知っている」と答えた人の割合



報道を自国のマスメディアで見聞きしたことがあるか（問17）
—「見聞きしたことがある」と答えた人の割合

